

# 食物アレルギーの診断・治療のための食物経口負荷試験について

当科では、食物アレルギーのお子さまに対して、食物経口負荷試験（以下OFC）を実施しております。

OFCは、アレルギーを疑う食物を実際に食べてみて、症状が出現するかどうかを確認する検査です。

お家で食物を食べてから症状出現までの経過の問診や、血液検査や皮膚テストなどの結果から、総合的に食物アレルギーを評価しますが、診断確定が難しいことも多く、最終的にはOFCが最も信頼性の高い検査となります。

また、食物アレルギーは症状の出ない量の摂取を継続していくことで、早期の治癒が期待できることが近年わかってきているので、その接種可能量の見極めのためにも、OFCは重要な検査です。

しかし、アレルギーを疑う食物を家で食べることは、アナフィラキシーなどの強い症状が出現するリスクが高いことから、OFCは病院で、できれば入院で行うことが望ましいとされております。

## OFCの主な目的

- ①検査上は食物への反応がある（感作）が、食べたことがない食物の診断
- ②症状を起こした原因として疑われる食物の診断
- ③アトピー性皮膚炎への関与が疑われる食物アレルギーの診断
- ④アレルギーのある食物の、安全に食べられる量の確定
- ⑤アレルギーのあった食物の耐性獲得の確認

## 実施方法

OFCは基本的には朝からの日帰り入院で実施しております。アレルギー症状が出現した場合は迅速に対応できるよう、医師がそばについて検査します。強い症状が出現した場合は、翌日まで1泊入院となる場合があります。



OFCに先立って、まずは外来診察にてお話を伺い、必要であればリスク評価のため血液検査や皮膚テストなどを行います。

そのうえで、OFCで実際に摂取する食品の種類・量や、試験日程などについて調整させていただきます。

もし、他の病院でアレルギー検査をしたことがあるのであれば、紹介状や検査結果も一緒に持ってきていただくと、とっても助かります。

